

「芸備線 庄原市・新見市エリアの利用促進等に関する検討会議」

第3回 会議要旨

1 日 時 令和4年2月7日（月）13:30～14:55

2 場 所 w e b会議による開催

[広島会場] TKPガーデンシティプレミアム広島駅北口（広島市東区）

[岡山会場] ホテルグランヴィア岡山（岡山市北区）

[新見会場] 新見市役所（新見市）

[庄原会場] 庄原市役所（庄原市）

3 出席者

[広島会場] 広島県 地域政策局長

J R西日本 広島支社 副支社長

[岡山会場] 岡山県 県民生活部長

J R西日本 岡山支社 副支社長

[新見会場] 新見市 副市長

[庄原会場] 庄原市 副市長

※各団体の実務担当部署から、所属長及び担当者が同席

4 内 容

(1) 第2回検討会議の振り返り

(2) 各構成員による発表

①岡山県域に係る取組状況

②広島県域に係る取組状況

(3) 意見交換

(4) 第4回検討会議に向けて

5 意見交換要旨

○J R西日本 岡山支社

- ・ 2020年に臨時列車を運行した時よりも、土休日については今回の方が、ご利用が増加した。一方で、1日トータルの利用者数としては、最多のご利用があった日でも備後落合－東城間で130名、東城－新見間で190名であった。
- ・ 分析の途中であるが、「地域内の移動」「地域をまたがる移動」「沿線外からの移動」という区分けもしながら、この間の利用実態を説明させていただいた。次回に向けてしっかりと分析をしたい。
- ・ 潜在ニーズの顕在化について、地域住民のニーズと、観光など交流人口増につながる地域外からのニーズ、この2つのニーズがそれぞれどの程度あるのか、また今回の利用促進でどれだけ顕在化したのか、次回の検討会議までにしっかりと分析を行い、皆様と確認していくことになると考えている。
- ・ 次回はこの度の取り組みの総括になろうと思うので、出来るだけ早く、遅くともゴールデンウィーク前後の開催をお願いしたい。

○岡山県

- ・ 短期間に様々な取り組みを行ってきたが、両県で着実に効果が表れてきたと感じる。
- ・ 新型コロナウイルスの影響もあり、なかなか思うとおりに進められないこともあるが、引き続き3月末まで、新見市、J Rと一緒に取り組みと分析を行いたい。

○新見市

- ・ 取り組み期間が短い中ではあったが、二次交通の取り組みや官民の協議会による取り組みが、少しずつではあるが効果が出てきていると思う。
- ・ 一方で、平日の利用が課題だと認識しているので、色々な形で協力をしながら取り組んでいきたい。
- ・ 新型コロナウイルス感染症の影響でイベントが打ちづらいということがあるが、できることから着実に進めたい。

○J R西日本 広島支社

- ・ 観光に代表される広域交通に係る取り組みにおいて、各種臨時列車を設定したが、旅行商品やイベント実施など地域の皆様の様々な取り組みが奏功し、臨時列車の効果を高めることができた。これを一過性でなく持続的な利用確保につなげるための方策や課題について整理する必要がある。
- ・ 一方、日常利用について、二次アクセスの整備など様々な取り組んでいただいたが、地域の足としてのご利用に結びついていない。引き続き、利用促進の取り組みも踏まえ、住民の皆様の潜在的ニーズについてしっかりと見極めていく必要がある。

- ・ 次回、今年度の取り組みが終了する一定のタイミングにおいて、利用促進の取り組み全体を通じて潜在的なニーズがどの程度あるのかしっかり評価・分析を深めていく必要がある。
- ・ 引き続き、利用促進の連携をお願いするとともに結果の検証等においても意見交換をしていきたい。

○広島県

- ・ 利用促進に取り組めば一定の効果があると確認できたと思う。
- ・ 民間を含めて市民の方々の様々な取り組みが始まってきており、非常に心強く、一緒に取り組んでいきたい。
- ・ 日常利用について、利用の定着には一定の時間がかかると思うので、継続して取り組みをしていくことが必要。
- ・ 新型コロナウイルス感染拡大により、近場で移動することも難しい状況が続いていることを踏まえる必要もあるが、今後も引き続き利用促進に取り組んでいきたい。

○庄原市

- ・ 新見市とは、各事業を通じ、鉄道によって両市がつながっていることを改めて認識した。庄原市では鉄道ネットワークを活用した周遊観光を目指すこととしており、両市の観光協会・DMOの民間レベルでの連携も進めていきたい。
- ・ JR広島支社とは、交流人口拡大に向けた持続的な利用の確保について、課題整理を行うほか、生活利用に関する潜在ニーズの把握と取り組みの実施に向けて、引き続き、ともに取り組みたい。
- ・ 今回増便と合わせて利用促進を行い、一定の成果が見られた。また、カープラッピング列車の運行など「芸備線を盛り上げよう」という市民等の機運が盛り上がってきている。
- ・ 新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言等により庄原市民に外出自粛の意識が根強いが、市民生活に根付くよう粘り強く利用促進の取り組みを継続していくとともに、観光プロダクト開発等による利用促進にも可能性を感じている。
- ・ 令和4年度でも利用促進の取り組みを強化していきたいので、引き続き、皆様の連携・協力をお願いしたい。

以上